# NPO法人美しい港町横濱をつくる会

(NPO法人UMY)

(第7号) 平成29年7月1日

平成29年度講演会 野老真理子氏を講師に

「年間300を超える地域活動・清掃活動から学ぶもの」

~地域と共に・地域密着型企業を目指して~と題して講演頂く!

平成29年度講演会が、3月7日(火)15時より、総会が開催された 横浜商工会議所8階会議室において、当会会員及び市内公募から参加頂 いた事業者も含め80名が出席し開催されました。

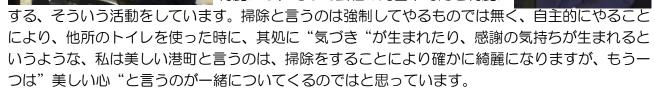
今回は「年間300を超える地域活動・清掃活動から学ぶもの」〜地域と共に・地域密着型企業を目指して〜と題して、不動産管理業の傍ら年間300を超えるボランティア活動を行い、カンブリア宮殿等にも出演しています、ユニークな経営者野老真理子氏(大里総合管理㈱代表取締役)(写真右)をお招きし開催致しました。

総会に引き続き事業部員の森優子氏(写真左下)の司会で始まり、当会を代表して鈴木一男会長(写真右下)より「当会は、法人を中心に現在80社で構

成しています。

7年前に設立し、平成26年にはNPO法人となり、組織も段々充実し、会としては当面100社を目指しています。

目的は、まず自分の会社の中を綺麗にする、 特に中小企業はトップをはじめ全員で社内を 綺麗にし、そして会社の周囲や町内を綺麗に



横浜市は毎年色々な事業が行われ、外国からも沢山の方々が来られますので、その方達に対し、 美しい心の持ち主が沢山おられれば、気持ちよく横浜に来て頂き、リピーターになると思われます。 そういう運動をしているのが当会です。年に一度の講演会は、清掃を実践している方に講演頂きその中で何かを学ぶ事を目的にしています。是非、学んで頂けますれば

#### 私が入社した頃は、500人位のお客様でした

幸です」と挨拶されました。(以下講演の要旨です)

#### 私は社員と共に管理地を増やすことを行い、10 年間で 6,000 にしました!

「私は現在 57 歳になります。大学を卒業してこの会社に入りました。父が居ませんでしたので 5 人の兄弟を母は内職で育てていましたが、内職で高校や大学にやれないという事で、一大決心し て母は不動産業に飛び込みました。その不動産会社が倒産したことで大里綜合管理会社ができます。 母の苦労を傍目で見ながら卒業しましたので、迷い無く母の仕事を手伝おうと思い入社しました。 九十九里浜は見渡す限り林や田んぼ、空き地が多く、放置されていた空地を一人ひとり所有者を調べて『ご自身で手入れができなければ草刈をさせて頂けないか』これが我が社の始まりです。

私が入社した頃は、500人位のお客様でした。管理は、50坪くらいの土地を年2回草刈して、

年4回パトロールをして異常があれば、直ぐに報告します。また、手作りの新聞を毎月送ります。これらを行い50坪の土地の管理費は年15,000円です。50坪の土地を15,000円で管理し6,000人にした時、母は世代交代をしようと言って34歳の時社長になりました。それから24年の月日が経ちました。

### 死亡事故を起し加害者の私を裁判に訴えてほしいと被害者にお願いし出来る限りのことはやりました もう一つ再発防止をしなければいけないという事で選んだのが掃除でした!

掃除と言う特徴を持つ会社になるのですが、そのきっかけは、私が社長になって3年目に大事故を起こします。まさか不動産業で死亡事件があるなんて私は想像もつきませんでした。私共が切った木をトラックで引っ張ろうとした時、その農道にバイクが入ってきて、22歳の青年の首にロープが引っ掛り即死をさせてしまうという大きな事件がありました。

私も 3 人の子供の母親ですので、誰かしらが人様の手にかかって死に至らしめられる事は許せない。反対側にたったとしたらどういう事をするかを想像しながら対応しました。

被害者と保険会社の折衝では、被害者の方が圧倒的に不利になります。ところが裁判にもっていくと、裁判の結論を保険会社は受け止めてくれますので、命の値段が最初の保険金は 4,200 万円、こんな訳ないと思い、被害者の所に伺い『私を訴えて下さい』裁判で検証したいととお願いし、3年の歳月を要して 7,600 万円になりました。私はできる限りの事はしましたが、私としてはもう一つ再発防止をしなければいけないという事で選んだのが掃除でした。

後から見れば、何故見張りを付けなかったのか、その瞬間に気づけなかった、そんな指導をできなかった。こういう事で事故を起こしたので、その瞬間に気づく、お客様の声に気づく、こんな訓練をしなければいけないと言う事で、1日1時間掃除をする会社にしました。『お客様よりも、仕事よりも優先して毎日1時間掃除をしよう』当時37歳の私が27名の社員にそんな事を言った事で、半分の社員が辞めました。

社長が「もののけ」にかかった、そんな風に思われたのだと思います。でも、会社を再生させていくという事で、その事に迷いも悩みもありませんでした。毎日 1 時間掃除をすることで会社を立て直そうと思いました。掃除をして綺麗になった時、綺麗の基準が変わります。全体の基準で綺麗だといっていたものが、自分が係わったところが基準になる訳で、其処が基準になって周りを見回すと、あそこに蜘蛛の巣が掛かっている、此処も汚れていた、こんな風に認識してその瞬間に気づいたことを形に変えてきました。

#### 掃除に学び、気づくという訓練を養み上げてきた事で

#### 今日のテーマに頂いた300の地域活動が生まれていきます!

その気づくという訓練を積上げてきた事で今日のテーマに頂いた、300 の地域活動が生まれていきます。掃除をしながら気づいたこと、様々あります。私共の社員の引き出しには同色同種類のペンは1本しか入っていません。何故なら2本入っている必要がないと気づく訳です。

そして名前をつけます。名前がついていることでその人の元に返っていく、毎日の掃除で気づい たことを形にしていきました。



スチール机の 2.3.4 段目には、ものが仕 舞われている所ではなく、問題が隠されて いるところだと気づきました。何故なら、書 類は棚に置き、棚から書類を取ってきたら 棚に返す、こういう積み上げは 1,000 以上 になります。何処を動かしても埃のない事 務所、必要なものが 10 秒で取り出せる会 社にしてきました。と同時に、お客様のニ ーズ、地域の方々の声も気づき始めて様々な 地域活動が展開されます。例えば本日は7日、7日は「クリーンロードの日」全長2Kmの道を3 箇所に分かれて毎月掃除をしています。毎月1日は仕事の範囲の中に13箇所ある駅を掃除しています。毎月土曜日には5箇所の階段の掃除をしています。一つひとつ数えると名前のつく事業が300を超えています。会社が30周年になった時、フロアにピアノを置きました。

我社は200坪位ですが、昼休みになると地域の方が集まり演奏家の方が30分間演奏を行います。2階には小さなレストランがあります。午前中はヨガ教室になったり、地域の主婦がシェフになってお昼から3時までレストラン、また、学童保育に使ったり、そういう空間になります。会議室も開放をして60人くらいの地域のアーティストの方に1ヶ月1,000円で貸しています。

私共の町は5万人の人口です。会社は年商5、6億ですが43年赤字を出さずにまいりました。社員は私の判断を仰ぐこともなく、本業を6割、後の4割は地域活動を行っています。

### 仕事と言う名のもとに、一人の人間が持っている役割、社会での役割 子育てをする役割、こういうものを「仕事が優先だろ」と奪ってしまう!

私が一つ気づいた事があります。それは企業の本質です。『この仕事が終わるまで帰るな、何やっているんだ』こういう言葉は使いませんけれども、そういう本質の元に一人の人間が持っている役割、社会での役割、子育てをする役割、こういうものを『仕事が優先だろ』と奪ってしまった。確かに会社の役割、商品が地域の役に立つようにはなっているけれども、企業が地域を、家族を駄目にしている、こんな現実を経営者として感じるようになりました。

我社の 200 坪の建物は、その全てが地域の人に解放されています。何故なら、土地の売買の契約、接遇をしているので、使われていなければ空いている場所がある。地域の人達の役に立つのであればと、土地の契約をしている傍らでコンサートの打合せをしたり、学童保育をしたりしています。こうした事をしていますので、宣伝広告費にお金をかけることもなく、カンブリア宮殿も含めメディアに 17 本くらい出させてもらいましたが、何一つ自分のお金を使って会社の宣伝をしたことはありません。結果的に我社の宣伝になっています。

#### これはこの世のものではない同じ日本人として何とかしなきゃいけない

#### こんな風に思い私たちの会社は動きました!

東日本大震災からまもなく6年になります。九十九里浜も波を被りました。日頃から地域活動をしている私達、あの大きな揺れと共に社員は会社に帰ってきました。社員は私からの指示を仰ぐまでもなく交通整理に行き5つの交差点で交通整理を夜暗くなるまでやりました。

私たちは地域の方達を我社のバスに乗せて地域の 2,500 人以上の方達を陸前高田を含め被災地 にボランティアに行きました。今も続けています。

昼仕事をして夜 11 時に出発し、明け方着いてから日中いっぱいボランティアをして夜中に帰ってきました。3月 19日から始まり、大川小に行った時、被災者に『何をして頂きたいですか』と訊ねると、ある時被災者が亡くなった娘にお雛様飾ってやりたいと話された事から、新聞記者の方に頼み、200 組を集め大川小学校に7段飾りの雛壇を6組飾りました。

沢山のボランティアを行いましたが、『これはこの世のものではない、同じ日本人として何とか

しなきゃいけない』こんな風に思い私 たちのボランティアはセンターを通さ ず、個人の方々の話を聴いて、被災者 の声に応えて来ました。お金がほしい という声には多額のお金を渡しました。

私も 100 回以上通っていますが、 震災で二つの事を学びました。一つは、 この世のものとは思えない震災、私た ちの会社は一人の命を奪った会社です。





人の命の重みを知っています。その命の重みをバネにして会社を再生してきましたので、2万人という命の重みに、これに答えを出さなければいけない。こう思いでボランティアを行いました。

皆に伝えたいことは『万が一の時は死ななければいけないという事を日本人は受け止めなくてはいけない。自然の大きさに人間はひとかたもないと言う事を覚悟して、自然を尊敬して生

きていく。何時の間にか経済優先、科学への奢り、こんな事で原発を怖がらなくなった、もう一度 この事を戒めよう』と受け止めボランティアに行ってもらっています。

『万が一生き延びたとしたら、めそめそしないでやれることをやる』こういう事が大事なんだと思いました。地域の復興状況をみると、主体的にやった所とやらなかった所の差が復興に表れていると感じました。私たちは原発の怖さを受け止めなかった。大元の責任は私たちではないのか。電気を使いたいだけ使って好きなだけ使う。こうした声がなければ原発もつくる必要がなかった。

原発の問題を自分の事として捉え、最初の1年間は原発が受け持つ量は3割と聴いたので3割を 節電しようとしました。1年経って3割は減らしましたが、平均3割は電気を使わないと生産でき ない工場や、病院なども含めて平均3割にしないと原発は稼動せざるを得ない。私たちは7割にな った電気の使用料を2年目は半分に減らそう、トータルで35%までに落とす方針を出しました。 社員の人達は無理だと言いました。環境投資もするからやってみようという事で進めました。

#### この会社の未来は今と同じように、目の前の情報

#### 見えたこと、やれることをやり続けるこんな会社にしたい!

夜の会議をなくす等、100 も 200 も項目を出して、2 年目が終わる時 38.7%まで下がった時、 社員の一人が『もう止めよう、お客さんに迷惑かけるから』こんな発言をしました。けんけんがく がく会話が入り乱れましたが、トップダウンで『私はあきらめない』と発言したとき、二葉町から 来た女性が賛成してくれ皆が同意してくれました。

結果を申しましと2年目は32.8%に下げることができ、6年になりますが、20%で推移しています。8割の経費が削減できたという事は、8割無理して働かなくても良い事になります。

こんな事を震災は教えてくれました。紙も50%削減しようと言うことで推移しています。この取り組みを通して社員も私も、どんなに困難があっても出来ると言う事を身につけた気がします。

この会社の未来は今と同じように、目の前の情報、見えたこと、やれることをやり続けるこんな会社にしたい。企業はマネジメント、PDCAの仕組みを持っています。

こんなすばらしい仕組みを地域の課題に受け止めることでできたら、新しい地域、日本の再生に繋がると思っています。」と話されました。

講師への謝辞も含め藤木久三副会長(写真左)より「色々なセミナーを聴きましたが、本日の講演を聴き、自分自身を見直さなければいけないと思った講演でした。野老様もやはり鍵山先生の掃除



の会から学ばれたと伺い、私もその会から学んで美しい港町横濱をつくる会の発足に至りましたが、今日改めて『気づく力と感謝』を思い知らされました。野老様も身体で実践されている方と感じました。我々も、やれることはやろう、小さな事もやれることは続けることが原点にあると思いますので、皆さんと一緒にこの会を原点から作り上げるように努力したいというのが、講演から感じた事でした。皆さんと一緒に会の発展を原点に戻ってやりましょう」と挨拶されるとともに、講師への再度のお礼を述べ全員の拍手のうちに1時間の講演は閉会となりました。

# 平成28年度事業報告及び決算・平成29年度事業計画 及び予算何れも全会一致可決頂きました!

## NPO 法人美しい港町横濱をつくる会第4回通常総会を開催致しました

寒さも少し和らいだ3月7日(火)14時より、横浜商工会議所8階会議室にて、38会員58名の出席で「第4回通常総会」が開催されました。

14時、森優子事業企画委員の司会ではじまり、開会に先立ち本日の総会が成立している事を報告。次第に基づき鈴木一男会長(写真右)より「日頃は当会の運営にご協力を頂き、おかげさまで第4回の総会を迎えることが出来ました。これも一重に皆様方の日頃のご協力のおかげと深く感謝申し上げます。

ご承知のようにこの会は7年前に17社で任意団体として設立され、4年前にNPO法人となりました。その後、時間の経過と共に、色々な事業活動 も年々充実しつつあります。横浜市も、外国の方が訪れる機会が沢山あります。

その中で、我々企業人として自分の会社の周りや市内全体を綺麗にすることも大切ですが、もう一つ大事な事は掃除に学ぶ、掃除をすることにより其処から、気づきとか、親切な心とかそう言うものが、我々だけでなく横浜市民が身につける事により、沢山訪れる外国人に親切にすることができ、リピータに繋がりますので、現在80社ですが広めていきたいと考えます」

と挨拶されました。

引き続き、鈴木会長が議長に選任され、議事録署名人に竹下知孝氏、万田準二氏を任命、議事に入りました。

平成 28 年度の事業報告に入り、各種事業結果について、 三役会、理事会結果を事務局、組織委員会結果について高見 澤尚弘組織委員長(写真左)、広報委員会結果を菊嶋秀生広報

委員長(写真右)事業企画委員会結果及び事業結果を中谷忠弘事業企画委員長より報告を受けました。報告の中では、課題であった各種委員会が設置され組織

体制が出来たこと、第 12 回一斉清掃については 572 名の参加と商店街との連携で清掃が行われたこと、また、組織委員会検討結果として、会員に実施したアンケートの分析結果として『清掃活動が清掃を実施している企業は、経営体質、社員の士気、社内の人間関係、その他の効果も生じているなど、掃除がもたらす効果は、CSR活動にとどまらず、企業体質の改善に効果が表れており

当会の活動が改めて実証された』との報告がされました。

平成 28 年度決算については、当期収入の範囲でまかなえた事などが報告され、何れも全会一致で、賛成可決されました。

続いて、平成29年度事業計画について中谷忠宏事業企画委員長より、一 斉清掃をはじめ各種事業の充実を図っていきたいと話されて提案されました。平成29年度予算についても、事務局より平成28年度の予決算について、収入の範囲内で収めたい旨を提案、何れも全会一致で可決頂きました。

ー切の議事が終了したことから議長が降壇され、後藤元信副会長(写真左)より「本日は、総会への御出席頂き、そして一つ一つの議案について皆様にご審議頂きました事に改めてお礼申し上げます。 80 社の会員が集まっている会というのは、80 社商売も経営理念、会社の規模も違いますが、そ

の中で、掃除と言うのは共通な言語だと考えております。清掃活動が一助となれば幸ですので、皆様方の更なるご協力もお願い致したい。

これから春になり、大勢の観光客が訪れますが、訪れるお客様にいいねと言って頂けるような町にしたいと考えますので、ご協力よろしくお願いいたします」と述べられて、第4回総会も盛会のうちに終了しました。



## [第13回一斉清掃結果]

# 500 名を超える参加者で西区・中区の街並みを 20コースに分かれて清掃しました!

花曇りの4月22日(土)午前8時45分に開会式が行われるJR桜木町駅駅前広場には、参加者が続々と集合し広場いっぱいに子供さんも含め48企業団体、533名の方々が集まり、第13回一斉清掃が行われました。

森優子事業企画委員(写真右中)の司会で始まり、当会を代表して鈴木一男会長(写真右)より、休日にも関わらず多数参加頂いた事にお礼を述べ、「当会の活動も着実に前進しており、今回の一斉清掃も商店街の皆さんと連携して行うことなりまとした。これも会員の皆様方のご尽力によるもので、今後ともよろしくお願したい。本日は楽しく安全に清掃を行って頂きたい」と手短に挨拶されました。

続いて本日のコース等を策定した佐藤元英清掃企画担当 (写真右下)より「まず、安全を第一に楽しく清掃してください」と清掃活動における留意点を説明しました。

司会者より、清掃活動に参加の会員などを報告し開会式は終了。全員による記念撮影を行い、各班毎にリーダーによるミーティングが行われ、西区 10 コース、中区コースはエリア清掃も含め 10 コース、計 20 コースに分かれて会場を後にしました。

今回より、新たに関内地区の清掃を「馬車道商店街協同

組合」「関内まちづくり振興組合」の 方々との連携で、関内エリアを一緒に 清掃を行いました。

馬車道商店街協同組合と連携は、 午前9時にJR桜木町を出発。当該地域に本社を構える㈱ジェイコムイースト横浜テレビ局班が担当。9時30分に「あいおいニッセイビル」に到着。

既に、集まっていた商店街の方々と 合流し3班に別れて、馬車道エリアの 清掃を行うなど、当会活動に新たな連 携が加わりました。

暑くもなく清掃日和の中、11 時前には、西区コースはJR東

当日は、心配された雨も降らず、暑くもなく清掃日和の中、11時前には、西区コースはJR東口駅前広場、中区コースは大通公園石の広場に、各班リーダーを先頭に、缶やペットボトル、傘な







ど沢山のゴミを持ちながらゴール。 記念撮影を行い、タカナシ乳業 ㈱より提供頂いた飲物とお子様に は㈱ありあけ提供の「ありあけの ハーバー」が配られました。

参加された方々は、皆さん笑顔・ 笑顔で「お疲れ様・ご苦労さん」と 言いながら会場を後にしました。

今回も「タカナシ乳業㈱」より、 沢山の飲物、「㈱ありあけ」より、 お子様用の「ありあけのハーバー」 を協賛頂き、感謝・感謝。ありがと うございました。



































































# [新会員ご紹介] (平成29年1月~6月)

- 口相鉄グループ CSR 推進事務局
- 口株式会社中萬学院個別指導事業部
- ロTHA REDFACE (ザ・レッドフェイス)
- □株式会社八洋
- □横浜植木株式会社



ありがとうございます!

# 快晴の 5 月 20 日(土)「中区クリーンアップ DAY 2017」 が開催され、当会より 200 名が参加しました!

雲ひとつない快晴となった5月20日(土)9時より「中区クリーンアップDAY2017」が600名を超える参加を得て、JR桜木町駅前広場にて開催されました。

開会に先立ち、当会の開会式を8時45分より同会場広場にて行い、森事業企画委員(写真右手前)の司会で始まり、鈴木会長(写真右端)より、4月に一斉掃が行われた直後にも関わらず多数参加頂いたお礼と、快晴の状況下、気温もあがることから熱中症にくれ

ぐれも注意して下さいと挨拶され、引き続き、 森事業委員より、本日の清掃についての説明 とお願い事項が話され、記念撮影を行い中区 クリーンアップ DAY に合流しました。

定刻に始まった開会式は、竹前中区長の挨拶、コースの設定や清掃を担当する佐藤氏より、清掃に当たっての留意事項などが話され、全員でのラジオ体操、記念撮影を行いました。 暑さを意識してか、15分で開会式は終了 しリーダーのもと、それぞれのコースに出発

当会からは、4月22日に一斉清掃に多数 (リ

しました。

The property of the second sec





参加頂いたにも関わらず、今回も 213 名の方々に参加頂き 6 コースに分かれ清掃を行いました。 当会のコースは、野毛、日ノ出町、伊勢佐木町界隈など比較的ゴミの多い場所を担当、特に大岡 川沿いは、ゴミが大量散乱している場所もあり、汚れている場所にはゴミが集まることが如実に表 れている状況にもありました。

11 時前には各班集合場所の大通公園石の広場に到着、記念撮影を行い、回収したゴミを種分けして、中区から支給された飲物を手に、お互い挨拶を交わしながら解散しました。

今回も、当会が全体の3割を超える参加となり、中区の事業に大いに貢献しました。参加頂きました会員の皆様ありがとうございました!





























